

鹿児島県医師連盟 FAXニュース

※会員の皆様へ 鹿児島県医師連盟編集・発行のFAXニュースです。医師連盟関係の情報を随時お送り致します。

編集・発行 鹿児島県医師連盟 TEL:099-213-1011 FAX:099-213-1012

衆院選、自民の現職4人と新人1人を推薦 鹿児島県医師連盟

鹿児島県医師連盟(池田琢哉委員長、約700人)は、2日夜鹿児島県医師会館で緊急執行委員会を開き、次期衆院選挙での推薦候補について協議した結果、県内4選挙区と比例代表において自民党公認の立候補予定者5氏を推薦することを全会一致で決定した。今後、新型コロナウイルス感染症対策など5項目から成る政策協定(別紙)を各候補者と締結する。

推薦するのは、鹿児島1区の宮路拓馬氏(41)、2区の金子万寿夫氏(74)、3区の小里泰弘氏(62)、4区の森山裕氏(76)、九州比例の保岡宏武氏(48)。

今回の総選挙はいかにしてコロナの収束を図っていくのか、経済をどう立て直していくのかなどが争点で、与野党の激しい闘いが予想される。衆院議員の任期満了(10月21日)に伴って、「10月5日公示、17日投票」が政権内で浮上していたが、3日になって菅総理が突然、総裁選への不出馬を表明。会見で「コロナ対策に専念するためだ」と理由を述べ、総理も辞任する意向を示した。今後総裁選がどんな構図で展開されるのか、次の総理にだれになるのか、注目される。

総裁選は9月17日告示、29日投・開票の日程で決まっており、いまのところ、岸田前政調会長が立候補を表明している。ほかに立候補があれば、激しい闘いが予想される。

いずれにしても、総選挙では、コロナ対策を国民がどう評価するのかが、最大の焦点で、厳しい情勢にあるといわれる自民党が、単独過半数を獲得できるのかも注目される。

池田委員長は今回の総選挙について、「最大の課題であるコロナ対策を進められるのは自民党しかない。皆様の絶大なる支持をお願いしたい」と述べた。

(文責・事務局)

各選挙区の推薦候補は次の通り。

【鹿児島1区】	宮路拓馬	(41)	自民現	当選2回
【鹿児島2区】	金子万寿夫	(74)	自民現	当選3回
【鹿児島3区】	小里泰弘	(62)	自民現	当選5回
【鹿児島4区】	森山裕	(76)	自民現	当選6回
【九州比例】	保岡宏武	(48)	自民新	

政策協定書

第四十九回衆議院議員総選挙において、〇〇〇〇候補と、鹿児島県医師連盟委員長池田琢哉は次の内容について政策協定を締結する。

記

〇〇〇〇候補は、左記の政策協定事項を鋭意実現するものとする。また、鹿児島県医師連盟は、〇〇〇〇候補者の当選に向けて一致団結して取り組むものとする。

政策協定事項

- 一、新型コロナウイルス感染症対策における有事の医療と、通常の診療を中心とした平時の医療を車の両輪として、国民の生命と健康を守り、ワクチン接種の推進等、一日も早い収束に向けて、全力を挙げて対応する。
- 一、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業並びに診療報酬上の特例的な対応に必要な予算を確保する。
- 一、感染症等に対する日本版CDC（疾病予防センター）の創設と国内におけるワクチン行政の推進について国に働きかけを行う。
- 一、国民間で医療・介護の享受に格差が生じないように、公的医療保険制度による国民皆保険を堅持するとともに、国民医療・介護の更なる充実・強化を図る。
- 一、住民が住み慣れた地域において質の高い医療・介護を受けられるよう、かかりつけ医を中心とした地域包括ケアシステム構築に必要な医療を確保する。

令和三年 月 日

〇〇〇〇党公認候補者〇〇〇〇

印

鹿児島県医師連盟委員長

池田 琢哉

印